



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、せとうちDMOの活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございました。

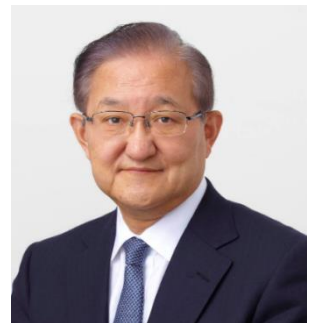
せとうちDMOではこれまで、欧米豪をメインターゲットに、海外関係者とのネットワーク強化等を課題とし、コロナ下においても準備を進めてまいりました。直近では、水際対策の緩和もあり、欧米豪のインバウンド観光客について回復の兆しが見えてきています。国際競争再開のこのタイミングにおいて、「せとうち」に一人でも多くのお客様に訪れていただけるか、本年はこれまでの準備の効果が問われる年になると考えております。

また本年は、G7広島サミットが開催され、関係閣僚会合も含め瀬戸内エリアに海外から多くの方が訪れ、世界に「せとうち」を知って頂くまたないチャンスとなります。さらに2025年には大阪・関西万博の他、様々な大型イベントが予定されています。せとうちエリアに国内外から注目が集まる絶好の機会を、しっかりと捉え、情報発信していかなければなりません。

瀬戸内海は1934年に日本初の国立公園として指定され、2024年には指定から90周年を迎えます。皆様と今一度、瀬戸内海全体の資源・インフラを見直し、海外から注目される着地整備など、一層の飛躍に向けた議論を進めていかなければなりません。せとうちDMOとして、将来を見据えながら各県や参画企業の皆様と議論し、しっかりと瀬戸内観光の成長を図って参りたいと思います。

本年も宜しく願い申し上げます。

一般社団法人せとうち観光推進機構 会長 真鍋 精志



明けましておめでとうございます。

国際観光振興機構(JNTO)の発表によると、「開国」後の昨年11月の訪日外客数は934,500人と、10月の498,600人から倍近くの伸びとなりました。コロナ前の2019年同月比で▲61.7%となり4割近くまで回復しています。我々のターゲットである欧米豪の高付加価値旅行者の方たちも延期をしていた旅行を再開された方がたくさんいらっしゃいました。

3か年中期計画「せとうち観光成長戦略2023-2025」を策定しました。国策としての量から質への転換をせとうちでも実現すべく、誘客戦略(プロモーション・マーケティング)と地域の魅力づくり戦略の両軸で事業を推進して参ります。せとうちのあるべき姿を描きつつ本年も皆様とともにせとうちブランドを高めて参りましょう。



せとうち観光推進機構
専務理事/事業本部長 坂元 浩

2023年の新春を皆様とともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響を始め、国際情勢に起因する物価高などが絡み合い、先行きの見通せない状況が続いた一年でありました。一方で、幸いにも緊急事態宣言がひとまず終了し、インバウンドの規制が緩和されるなど、我々にとって明るい兆しもあります。アフターコロナを見据えた変革が求められた昨年から一変し、本年は訪日観光客を本格的に迎える1年となる為、世界中の観光客から注目されることとなるでしょう。

弊社はこれまでの観光業が苦難の中、数多くのコンテンツを瀬戸内エリアの事業者様と共に展開してまいりましたが、本年も世界が注目する「せとうちの豊かさ」を守り、サステナブルな観光地作りを目指したいと考えておりますので、本年も引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。



瀬戸内ブランドコーポレーション
社長 井坂 晋

「2023年 インバウンド完全復活に向けて！ わが県のいいところ」

2023年インバウンド完全復活に備える瀬戸内7県の観光情報を紹介していきます。

兵庫県

兵庫県では、インバウンド本格回復に向け、古民家等を活用した宿泊施設と体験コンテンツを組み合わせたモデルツアーや、ヘリコプター・クルーズ船等を活用した周遊観光プランの造成、造成商品の海外旅行会社への売り込み等により、県内へのインバウンド誘客を促進します。

また、2023年に開催するイベントとして、7～9月に、JRグループ6社と地元自治体、観光事業者等が一体となって兵庫デスティネーションキャンペーン（DC）を実施します。DCでは、「兵庫テロワール旅」をテーマに、兵庫の風土に育まれた食、歴史、文化、産業に根差した魅力的なコンテンツの数々をご用意しますので、兵庫でしか経験できない特別な体験を是非お楽しみください！

詳しくは、兵庫テロワール旅サイトをご覧ください。

★兵庫テロワール旅サイト：

<https://www.hyogo-tourism.jp/terroir/about/>



【ロマーク】



【明石浦漁協でのセリ見学】



【伝統的工芸品「豊岡杞柳細工」の体験】



岡山県

岡山県ではインバウンド完全復活に向け、コロナ禍により長らく中断していた対面でのプロモーション活動を再開しています。昨年11月の台湾での現地プロモーションに始まり、今年1月にはタイでの旅行博出展、2月には海外6市場を対象としたFAMツアーと商談会の開催、また3月には香港での現地プロモーションを予定しており、今後も積極的なプロモーション活動を進めていく予定です。

岡山には日本三名園の一つである「岡山後楽園」や、白壁の町並みが美しい「倉敷美観地区」、西日本屈指の高原リゾート地「蒜山高原」や美作三湯を中心とする温泉地などに加え、特産のフルーツやご当地グルメ、海の幸といった食の魅力にもあふれています。こうした魅力を余すことなくPRし、インバウンド誘致に積極的に取り組んでまいります。



昨年11月に台湾で実施したプロモーションの様子



台湾でも大人気だった倉敷美観地区の川船流しの様子

広島県



広島県では、本年5月の『G7広島サミット』開催に先駆け、3月にサミット参加国（6市場）を対象にしたメディア向けFAMツアーを実施します。本FAMの実施により、サミットの事前海外発信として実施されるせとうちDMO主催の『せとうち7サミット』ほか、県内の観光コンテンツを現地有力メディアによって海外へ発信し、観光地としての『広島』の認知向上を目指します。

また、本年は、誘客ターゲットの嗜好に合わせた情報発信や昨年「ひろし・みやこ同盟」を締結した京都市観光協会を始めとした他エリアとの連携した取り組みを強化し、海外の旅行エージェントや訪日旅行検討者に対して、本県への認知及び興味関心を高め、より多くの来訪・宿泊に繋げるよう取り組みます。



山口県

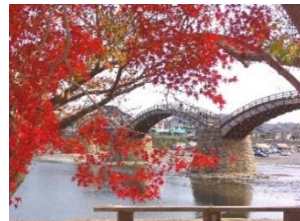
山口県は本州の最西端に位置し、三方を海に開かれ、豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、多種多様な食材と沢山の見どころがあります。テレビCMやロケ地として多く取り上げられる「角島大橋」や日本三名橋の一つ「錦帯橋」などの絶景な景色はもとより、ふぐ、瓦そば、地酒など海の幸、山の幸が各地で楽しめます。

昨年、3年ぶりに韓国・台湾・タイの現地の旅行会社を招いて、県内観光地の視察ツアーと商談会を実施しました。

山口県では、市町や関係事業者と連携して、新たなニーズを着実に捉え、山口県ならではの魅力的な観光コンテンツの造成や安心して県内観光を楽しめる受入環境の充実を図り、インバウンドの拡大に取り組んでいきます。



ドラマやCMにも起用された角島大橋
(下関市)



四季折々の景色が楽しめる錦帯橋
(岩国市)

徳島県



徳島県では、サステナブルなコンテンツが注目を集めています。ゴミのない社会を目指す上勝町のゼロ・ウェイストセンター、ウミガメとの共生を掲げる美波町のうみがめ博物館カレッタ、うだつの町並みや秘境・祖谷のかずら橋をゆったりと自転車で巡るポタリングなど！是非磨き上げられた観光体験をお楽しみください。2023年3月末まで「#徳島あるでないで」観光キャンペーンも開催中♪

徳島県の観光情報や助成制度は、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」で発信しています。

【阿波ナビ <https://www.awanavi.jp/>】



ゼロ・ウェイストセンター



うみがめ博物館カレッタ



ポタリング



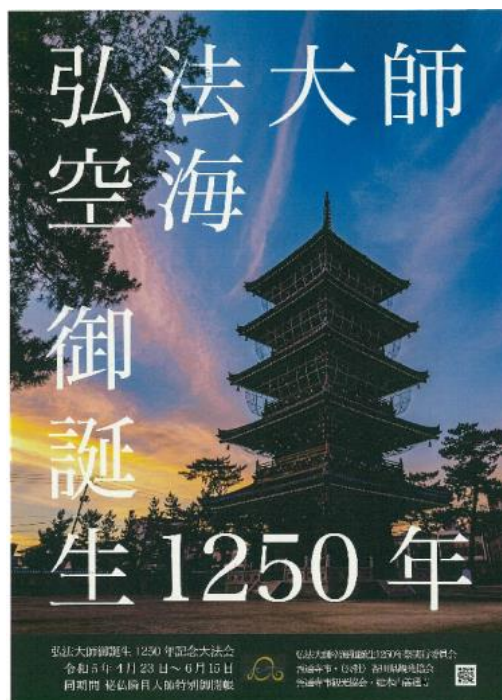
香川県



2023年は、香川県出身の偉人、弘法大師空海の御誕生から1250年を迎える年であることから、「弘法大師空海御誕生1250年祭」が開催されます。

生誕の地とされる総本山善通寺において2023年4月23日から6月15日までの約2ヵ月間記念大法会が開催され、機運醸成のため、弘法大師空海に関連するイベント等を多数実施予定です。また、弘法大師御誕生1250年記念グッズとして、Tシャツ、トートバッグ、マフラータオル、ピンバッジなども販売しています。

弘法大師空海の御誕生をお祝いするとともに、1250年祭を通して、多くの方の心に残る記念の年となることを目指していますので、是非この機会に香川県へお越しください。



愛媛県

愛媛県では、昨年、10月末に開催した「サイクリングしまなみ2022」では多くの外国人の方にも御参加いただき、4月～12月に南予地域で開催した「えひめ南予さずな博」では新たな誘客・受入体制の構築が進められました。また、大洲市が「世界の持続可能な観光地」のTOP100に県内で初めて選ばれるなど、インバウンドの関心の高まりも期待されています。

今後もサイクリングや道後温泉、豊かな自然や歴史をフックに、インバウンドの復活・誘客促進に向け、コンテンツのブラッシュアップや環境整備に取り組んでいきます。



サイクリングしまなみ2022開催の様子



「世界の持続可能な観光地」TOP100に選ばれた大洲市の大洲城

◆参加登録者数1,500名超！ 「第11回せとうちミーティングfrom愛媛」開催！！

せとうちDMOは12月19日（月）、「第11回せとうちミーティング from愛媛」をオンラインで開催、愛媛県大洲市・大三島などから配信を行いました。

「せとうちミーティング」は、観光関連の有識者の講演の他、開催県の事例紹介やJNTO海外事務所からの中継などが盛り込まれ、毎回多くの方々が参加する、せとうちDMO主催のビジネスカンファレンスです。

多くのご要望をいただいたことから上限を引き上げ、結果**1,500名を超える参加登録、当日の視聴者は800名超と、好評**のうちに開催となりました。

せとうち7県外からの参加者も多く、**東京や大阪、北海道から沖縄まで、そして海外5ヶ国以上から**視聴いただき、改めて開催都市：大洲をはじめとする「持続可能な観光地づくり」を切り口にした「せとうち」への関心の高さを感じる回となりました。視聴者の方々の通信環境等により、一部で動画の乱れなどがあったものの、雪の大洲城を望む会場やしまなみの海をバックにした大三島からの中継など、成功裏に終えることができました！

全体テーマ：愛媛抜きには語れない「せとうち」の魅力～サステナブルな観光地づくりへの挑戦～

主催者挨拶（開会）：（一社）せとうち観光推進機構 専務理事/事業本部長 坂元 浩

◆第1部 基調講演：「瀬戸内における文化観光の可能性 －インクルーシブツーリズムを目指して－」

愛媛大学 社会共創学部 地域資源マネジメント学科
文化資源マネジメントコース 准教授 井口 梓 氏



◆第2部 特別講演：「愛媛県観光の現状と取り組み：地域事例の紹介」

- <東予> しまなみ海道だけじゃない！島々全体でのデザインを
～しまなみ海道「WAKKA」の展望～
(株)わか 代表取締役CEO 村上 あらし 氏
- <中予> 未来に繋ぐ道後温泉のまちづくり～DtoB、DToCへの取り組み～
道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 会長 宮崎 光彦 氏
- <南予> 歴史的資源を活用した持続可能な観光まちづくり
～サステナブルな観光地OZU CASTLE TOWNを目指して～
(株)KITA 代表取締役 井上 陽祐 氏

◆第3部 観光関連セミナー

ドイツ（ヨーロッパ）市場の現状と展望～サステナブルツーリズムの潮流～
JNTO（日本政府観光局）フランクフルト事務所 次長 神吉 麻里 氏
せとうちDMOメンバーズについて
(株)瀬戸内ブランドコーポレーション ソリューション部長 遠藤 成将

主催者挨拶（閉会）：（株）瀬戸内ブランドコーポレーション 代表取締役社長 井坂 晋



ライブ配信は愛媛県大洲市：NIPPONIA大洲城下町MITI棟、旧加藤家住宅主屋より行いました。旧加藤家住宅は、大洲藩主の末裔である加藤泰通（かとう やすみち）が、大正14（1925）年に建築した住宅です。戦前の高級住宅と評価され、大洲を代表する近代和風建築の一つと言えます。

◆瀬戸内アカデミー報告

瀬戸内アカデミー：第70回 「奇跡の広島サッカー物語」

カタルW杯が開催され、日本代表チームが優勝候補のドイツやスペインに勝利を収めるなど、日本中がサッカーの話題で盛り上がっている中、今年Jリーグで快進撃（リーグ戦3位、ルヴァンカップ優勝、天皇杯準優勝）を果たしたサンフレッチェ広島の仙田社長に、「奇跡の広島サッカー物語」と題しまして、ご登壇いただきました。

被爆という世界最大級の悲劇から、当時の広島の若者は、サッカーから生きる勇気と希望を与えられ、立ち上がってきたエピソードから、先達の努力の上に今のサンフレッチェ広島がある所以など、沢山のイラストや動画を交えながら、ご説明いただきました。また、1年あまり先に完成する新スタジアムの設置場所にまつわる奇跡についてもお話いただき、大変興味深い、広島愛、サッカー愛あふれるご講演となりました！

参加者からは、「サッカー愛と戦後の復興の思いを強く感じました。何事も思いが大事と思いました」「仙田社長の熱い想いを共有いただき、こちらも気持ちが上がりました！」など多数のご好評の声をいただきました！



サンフレッチェ広島 仙田...



グループで、家族で、カップルで、もちろんおひとりさまでも、多様な観戦スタイルで、自由に楽しむ多彩なバラエティシート
http://www.sanfrecce.co.jp/

サンフレッチェ広島への想い



サンフレッチェ広島
代表取締役社長 仙田信吾氏

◆日時：2022年12月8日（木）14時～15時

◆講師：株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役社長 仙田 信吾 氏

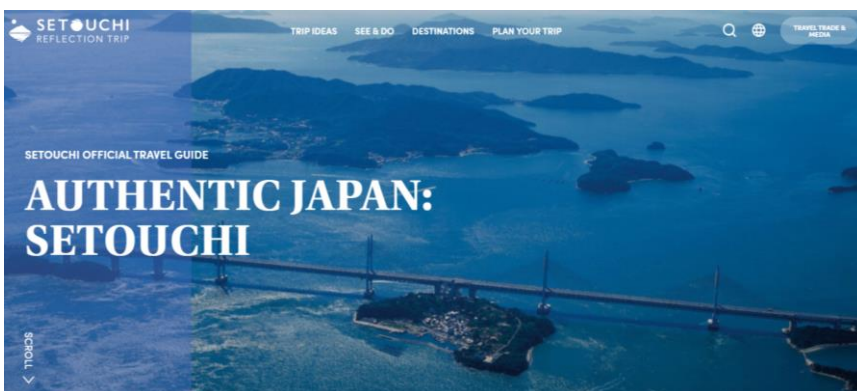
<https://www.sanfrecce.co.jp/>

せとうちコンテンツプラットフォームを ローンチしました！

（一社）せとうち観光推進機構の新たなオウンドメディアとして、多言語観光Webサイト「せとうち コンテンツプラットフォーム（以下、「PF」という。）」を12月26日（月）にローンチしました。

当PFを活用して「せとうち」の魅力をターゲット国のユーザーへの確に発信し、「せとうち」への実誘客に繋がられるよう努めて参ります。

新ホームページURL：<https://www.setouchi.travel/en/>



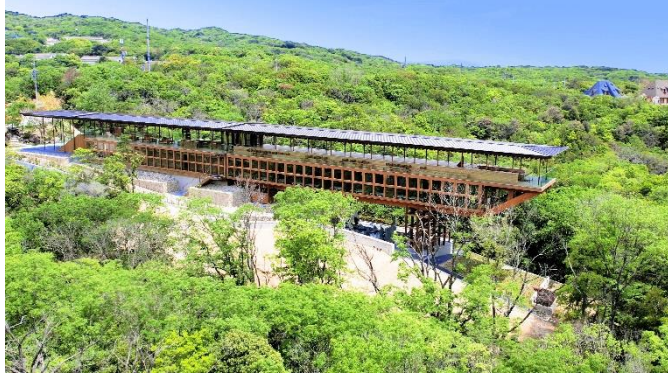
◆海外メディア69媒体で掲載されました！

10、11月は、69媒体でせとうちに関する情報を掲載いただきました。10月11日に日本への入国制限が解除され、日本への注目が集まっている状態であったこともあり、今回は大手メディアである「Condé Nast Traveller」にせとうちの情報を掲載いただけました。各県の皆様と連携し、新規オープンした施設の情報がサステナブルに関連した情報等メディア側にとってニーズが強い情報を発信し続けている成果が現れ始めていると感じております。引き続きせとうち全体をPRし、一人でも多くの外国の方が瀬戸内の地域をご認識いただき、訪れていただけるよう誘客に努めてまいります。

英「Condé Nast Traveller」

< The 23 best places to go in 2023 >
(2023年に行くべき場所ベスト23)

月間閲覧数：
約8,000,000PV



【兵庫】 禅坊 靖寧
【岡山・広島・山口】 ポナンクルーズ

https://www.cntraveller.com/article/best-places-to-travel#intcid=_conde-nast-traveller-uk-verso-hp-trending_8fc079bd-93db-4ee3-81c9-00a981aab386_popular4-1

米「Digital Journal」

<“Greenable” Sustainability Initiative Launches In Japan >
(サステナビリティ・イニシアチブ「Greenable」を日本で開始)

月間閲覧数：
約585,100PV



【岡山】 GREENable HIRUZEN

<https://www.digitaljournal.com/pr/greenable-sustainability-initiative-launches-in-japan>

独「EURONEWS」

< NACHHALTIGES JAPAN | Klimafreundliche Unterkünfte für die nächste Generation von Reisenden >
(SUSTAINABLE JAPAN | 次世代の旅行者に向けた気候に配慮した宿泊施設)

月間閲覧数：
約2,000,000PV



【徳島】 HOTEL WHY

<https://de.euronews.com/reise/2022/11/21/nachhaltiges-japan-klimafreundliche-unterkunfte-fur-die-nachste-generation-von-reisenden>

豪「Global TRAVEL MEDIA」

< ADD SETOUCHI TO YOUR ITINERARY TO MAKE YOUR JAPAN TRIP MORE AUTHENTIC >
(瀬戸内を旅程に加えれば、より本格的な日本旅が楽しめる)

月間閲覧数：
約1,030,000PV



【兵庫】 竹田城
【岡山】 岡山城、後樂園、倉敷
【広島】 せとうち古民家ステイズ、宮島
【山口】 錦帯橋
【徳島】 鳴門の渦潮

<https://eglobaltravelmedia.com.au/2022/11/18/add-setouchi-to-your-itinerary-to-make-your-japan-trip-more-authentic/>

◆2022年12月の新規瀬戸内ブランド登録商品について

一般社団法人せとうち観光推進機構では12月に瀬戸内ブランド登録商品として新たに10社の21商品を登録しました。

これにより、瀬戸内ブランド登録商品として累計で食品等357事業者の1,128商品、サービス24事業者の42商品が登録されたこととなります。(販売終了商品を含む)。

なお、瀬戸内ブランド登録制度では、瀬戸内エリア特有の「自然（島や内海）」、「食」、「歴史」といった資産をもとに、創意工夫によって開発され、瀬戸内ブランドのアイデンティティを体現するような商品（サービス商品は受付終了）を登録基準に基づき瀬戸内ブランドの商品として登録しております。これにより「瀬戸内」のブランド価値を向上させ、広く国内外に認知が広まることを目指しています。

※「瀬戸内ブランド登録制度」については、せとうちDMOのHP内掲載：

<https://setouchitourism.or.jp/ja/service/product/>



2022年度 瀬戸内ブランド登録商品 【新規】12月登録商品（一部抜粋）

広島県広島市

1

中国シワ株式会社

おとなレモンハンドクリーム
from広島



愛媛県松山市

2

株式会社ヒューネット

うちこおろぎキャンディ
うちこおろぎとアーモンドのおつまみ
他4商品



岡山県浅口市

3

かも川手延素麺株式会社

手延うどん
瀬戸内塩レモンスープ付き



広島県尾道市

4

株式会社樋口製菓

瀬戸内はっさくジンジャー



広島県広島市

5

福留ハム株式会社

あらびきKING
あらびきKINGレモン&パセリ
他2商品



香川県高松市

6

ツジセイ製菓株式会社

瀬戸内レトロ
(瀬戸内レモンクッキー)



広島県尾道市

7

株式会社丸松

ネーブルオレンジマーマレード
瀬戸内レモンマーマレード
他2商品



広島県尾道市

8

尾道しまなみファーム合同会社

しまなみ青みかんサイダー

